

こっこめ通信 10 2013

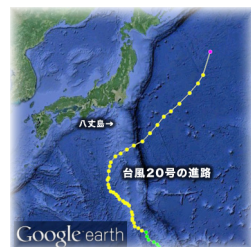
「細かく見ると」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

9月21日に発生した台風20号。ゆっくりと北上し、八丈島に近づくのか？近づくのか？とヒヤヒヤ。それもそのはず、29日から南原スポーツ公園で開催される第68回国民体育大会の公開競技である高等学校軟式野球に参加する選手たちが来島する飛行機の就航が危ぶまれたからです。結果、島の人の願いが届き台風は逸れ、選手は無事に来島できました。競技は10月2日の決勝で幕を閉じる予定です。

さて今回は、「八丈植物セミナー開催」「島のトンボを見比べてみよう！」のお話です。



八丈植物セミナー開催

9月28・29日に、伊豆諸島の植生・植物・環境調査研究に関わってきた研究者・OBから構成されている伊豆諸島植生研究グループによるシンポジウムと植生調査の手法を勉強しながらの自然観察会が開催されました。伊豆諸島植生研究グループでは、これまで平成23年度に三宅島と御蔵島、平成24年度に神津島と新島においてセミナーと植生調査を行い、それぞれの島の植生誌を発行しています。今年度は伊豆大島、そして今回の八丈島でセミナーと植生調査を行い、植生誌を発表する予定になっています。

グループの中から今回来島されたのは、東京農工大学農学部准教授の星野義延氏と筑波大学生命環境系教授の上條隆志氏のお二人。上條先生からは「八丈島の植生誌を作ります」「新島自然愛好会の紹介」「神津島七島花の会の紹介」、星野先生からは「伊豆諸島の植物と植生の特徴」のお話をいただきました。

上条先生の植生誌の話の中では、御蔵島と八丈島だけに分布している“ハチジョウウコメグサ”が植生調査をすることによって、それぞれ島の山頂部の限られた一部の場所にしか分布していないことが分かり、その分布地から無くなってしまふ事は種の絶滅に繋がる。これは植生誌が無ければ分からないことである。植物や動物の生息環境でもある植生に関する資料、すなわち、**植生誌が保全のためには必要である**ことを訴えていました。また、新島自然愛好会の方が見つけて、2011年に和名が付いた“ニイジマトンボ”の話もありました。



星野先生の伊豆諸島の植物の話では、伊豆諸島の特異な植物相、伊豆諸島原産の緑化樹・園芸種の話から始まり、伊豆諸島の植物は“**葉が大型化**”“**花の芳香**”“**花冠の変異**”“**棘の退行**”などの形態変異を写真や標本を見て比べました。また、ウツギを調べたところ、伊豆諸島のウツギは他の地域に比べると花が大きく花弁が長い、星状毛の数は変わらない。しかし、八丈島のウツギだけは星状毛が多く少し変わっているということでした。

そして29日の観察会では、実際の植生調査の方法を体験。植生調査票の記入の方法を教えてもらった後に、スダジイ・オオシマカンスグ群集で高木・亜高木・低木・草本の階層ごとに種名と優占度・群度を記入していきました。参加者は初めての経験で皆さん楽しんでくれたようです。

今年度中に八丈島の植生誌が発行されるとのことなので、とても楽しみです。

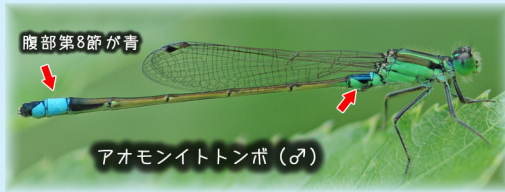


「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

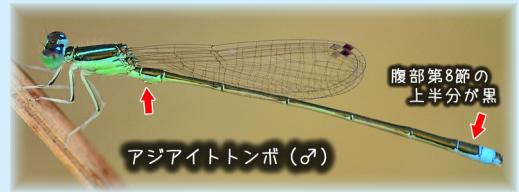
島のトンボを見比べてみよう！

八丈島で記録のあるトンボの仲間は19種（こっこめ通信 2006年8月号参照）。オスとメスで色が違う種類も多く、見分けるのはちょっと難しい？ でも見比べるポイントが分かると「なるほど！」と思えるかも。今回はオスの模様を見比べてみました。ここでは紹介していないコシアキトンボも島ではたくさん見られますね。

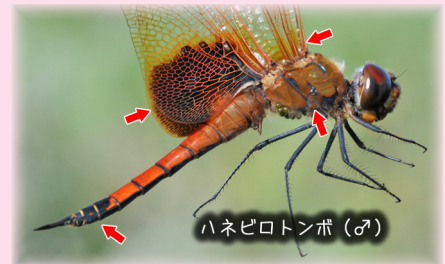
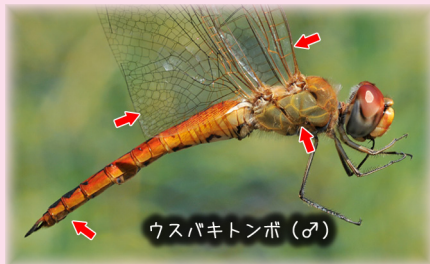
【イトトンボの仲間】



体が細く、小さなイトトンボの仲間は見つけにくいですが、探すとたくさんいます。そのほとんどが「アオモンイトトンボ」ですが、「アジアイトトンボ」も見つかっています。（メスは次ページ参照）



【体が赤っぽいトンボ】

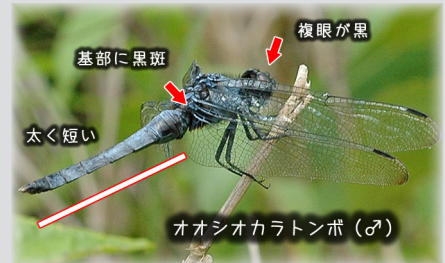


八丈島の人々が「赤とんぼ」と呼んでいるのは、たぶん「ウスバキトンボ」だと思います。このトンボは、3月頃に南から渡ってきて島の中で世代交代を繰り返しますが、冬を越すことはありません。世代を繰り返すうちに数も増え、夏には空いっぱいのウスバキトンボが飛んでいる光景も目にします。体が一番真っ赤になるのは「ネキトンボ」。水場からあまり離れることはありません。「ハネビロトンボ」は、長距離を飛ぶため翅の幅が広く、後翅の付け根の色が濃くなっています。

【シオカラトンボの仲間】



誰でも知っている「シオカラトンボ」。メスや未成熟なオスは「ムギワラトンボ」とも呼ばれています。成熟して白粉を帯びたオスをよく見てみると、複眼が青く細身の「シオカラトンボ」と体が少し大きくて複眼が黒く、腹部が太く短い「オオシオカラトンボ」の2種類いるのが分かります。開けた場所はシオカラ、開けていない薄暗い場所にはオオシオがいることが多いような気がします。



【ヤンマの仲間】



大型で池の周りを飛び回る「ギンヤンマ」や朝夕の時間帯に活動が活発になる「カトリヤンマ」や「ヤブヤンマ」などが島の代表的なヤンマの仲間。「オオギンヤンマ」や「クロソジギンヤンマ」などは極めて稀な種類になります。ギンヤンマの仲間は腹部の模様で見分けることもできます。



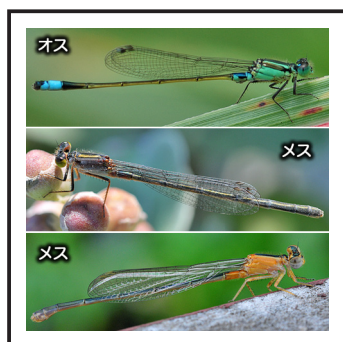
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月8日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成25年第9回)参加者: 沖山、菊池昭、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本			シダ植物		
1	アオツヅラフジ	実	1	イヌザンショウ	実	1	オオイタチシダ	
2	アオノクマタケラン	実	2	イヌビワ	実	2	オオタニワタリ	
3	アシタバ	花	3	エノキ	実が残る	3	オニヤブソテツ	
4	イワニガナ	花	4	オオバヤシャブシ	実	4	カニクサ	
5	ウリクサ	花	5	オオムラサキシキブ	若い実	5	スギナ	
6	オニタビラコ	花	6	ガクアジサイ	実	6	タチクラマゴケ	
7	オヒシバ	実	7	カラスザンショウ	実	7	タチシノブ	
8	キツネノマゴ	花	8	サカキカズラ	実	8	タマシダ	
9	クズ	花	9	シチトウタラノキ	花	9	ノキシノブ	
10	コニシキソウ	花と実	10	シマクサギ	花、盛り	10	ハチジョウカナワラビ	
11	コミカンソウ	花と実	11	スダジイ	実	11	ハチジョウシダ	
12	ザクロソウ	花	12	テイカカズラ	実	12	ハチジョウベニシダ	
13	シマウチワドコロ	実	13	トベラ	実	13	ヒトツバ	
14	セイヨウタンポポ	実	14	ハゼノキ	実	14	ホシダ	
15	タチスズメノヒエ	実	15	ハチジョウキブシ	実	15	ホラシノブ	
16	ツルボ	花	16	ハウライカズラ	実	16	マメツタ	
17	ツルマオ	花	17	ホルトノキ	若い実	17	ミゾシダ	
18	テンツキ	実	18	マサキ	若い実	18	ヤマイタチシダ	
19	トウバナ	花と実	19	ヤブツバキ	実	今回は始めは良い天気だったのですが、途中から雨が降り出しそうな雲行きに変わってきたので少し早めに切り上げました。昆虫ではナミアゲハが多く、ハチジョウカラスアゲハやキチョウも目立ちました。バードサンクチュアリではギンヤンマが見られました。		
20	トキワハゼ	花						
21	ナキリスゲ	実						
22	ハキダメギク	花						
23	ハダカホウズキ	花						
24	ハチジョウアザミ	花						
25	ヒナギキョウ	花						
26	ヒメクグ	実						
27	ヒメヒオウギズイセン	花						
28	ヘクソカズラ	花						
29	ホソバツルメヒシバ	実						
30	ママコノシリヌグイ	花						
31	メヒシバ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物公園でも見られる「アオモンイトトンボ」にスポットを当ててみたいと思います。



アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis*

イトトンボ科のトンボ。分布は関東以南、

オスの腹部第8節全部と第9節の下側は鮮やかな青色で他の種との識別点になります。メスはオスと同じ色のタイプと未熟な時は胸部がオレンジ色(写真下段)で成熟すると緑(写真中段)に変わるタイプがあります。明るい池などで普通に見られます。

2013 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	● 5 ガイドウォーク
		02:17 08:41 15:22 21:22	03:07 09:22 15:47 21:49	03:49 09:58 16:12 22:18	04:29 10:31 16:37 22:48	05:08 11:04 17:03 23:19
6 ガイドウォーク	7	寒露 8	9	10	11	☾ 12 ガイドウォーク
05:48 11:37 17:30 23:53	06:30 12:11 17:58	07:15 00:30 18:27 12:45	08:04 01:10 18:59 13:21	09:02 01:55 19:34 14:03	10:17 02:49 20:20 15:01	11:56 04:01 21:40 16:47
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	14 ガイドウォーク 秋の特別行事 「八丈富士裾野 ハイキング」	15	16	17	18	○ 19 ガイドウォーク
05:34 13:22 18:58	00:05 07:05 14:15 20:11	01:49 08:14 14:53 20:57	02:57 09:07 15:26 21:35	03:49 09:49 15:55 22:10	04:34 10:26 16:22 22:43	05:15 10:59 16:49 23:15
20 ガイドウォーク	21	22	霜降 23	24	25	26 ガイドウォーク 八文学講座 「旅するタネを探そう」
05:54 11:31 17:15 23:47	06:30 12:01 17:41	07:07 00:19 18:08 12:30	07:43 00:53 18:35 13:00	08:22 01:28 19:04 13:32	09:08 02:07 19:36 14:11	10:05 02:52 20:16 15:09
☾ 27 ガイドウォーク	28	29	30	31		この色の日は 行事があります
11:23 03:51 21:39 17:04	12:43 05:10 19:12	00:13 06:35 13:38 20:08	01:48 07:44 14:17 20:44	02:48 08:37 14:50 21:17		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
10/13（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

全国自然歩道を歩こう月間

「八丈富士裾野ハイキング」

全国自然歩道を歩こう月間に合わせたハイキング、今年も八丈富士の裾野を歩きます。
10/14（9:30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険・交通費） 定員：20名

八文学講座

「旅するタネを探そう」

毎月行っている八文学講座。今月は、生息範囲を広げるための不思議な種を探しましょう。
10/26（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2013.10.1 第149号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

トンボのお話を書きましたが、今年は急に寒くなって、数が少なくなってしまいました。見分け方は来年までお預けでしょうか？また、島にはアキアカネやオニヤンマの記録が残されています。これも来年への宿題となりそうです。（高）